

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024 年 10 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

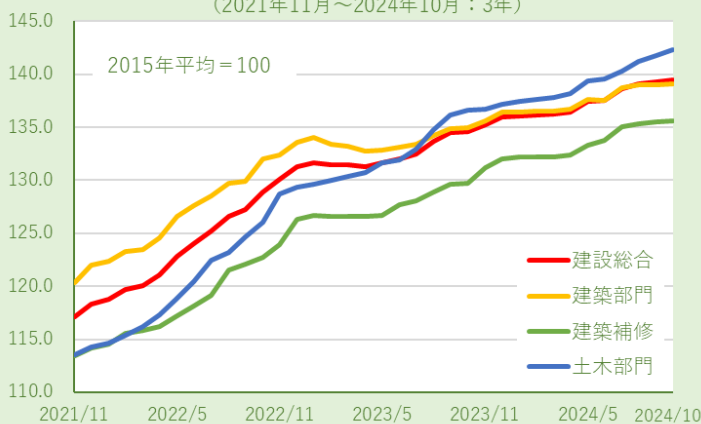
1. 指数の動向（全国平均）

10 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が **139.4** となり、前月比+0.1%(+0.2 ポイント)と 18 カ月連続の上伸となった。前年同月比では+3.6%(+4.8 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **139.1** となり、前月比+0.0%(+0.1 ポイント)と 4 カ月連続の上伸となった。前年同月比では+3.1%(+4.2 ポイント)となった。**建築補修**は **135.6** となり、前月比+0.1%(+0.1 ポイント)と 7 カ月連続の上伸となった。前年同月比では+4.5%(+5.9 ポイント)となった。**土木部門**は **142.3** となり、前月比+0.4%(+0.6 ポイント)と 2020 年 5 月以来 53 カ月連続の上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.2%(+5.7 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年11月～2024年10月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル

主原料である銅価格の高騰に伴い、電線・ケーブル類の価格が上伸、指数動向のプラスに寄与

【電気機械】電気照明器具

電子部品等の調達費用上昇分を製品価格に転嫁したメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

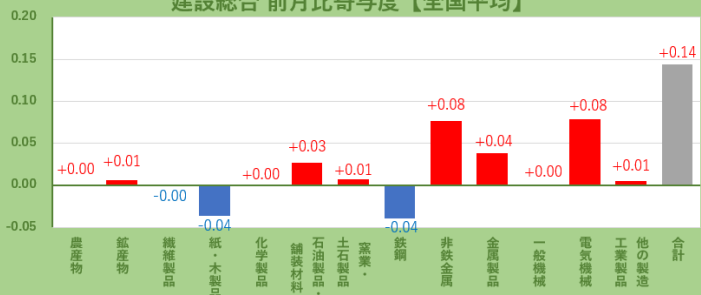
【紙・木製品】合板類

国内需要の長引く低迷から販売店間の価格競争も長期化し、製品価格の続落が指数動向のマイナスに寄与

【鉄鋼】普通鋼小棒

鉄スクラップ価格続落のなか、需要低迷から販売競争が激化。製品価格の下落が指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

指数動向にプラス寄与した電線・ケーブル類や電気照明器具の価格上伸は全国一律の値動きとなった。一方、マイナス寄与した合板類や棒鋼類の価格下落は、各都市で値差があり、都市別の指数動向にも格差を生んだ。

各都市の指数動向をみると、**【新潟】**(前月比+0.3%)では、アスファルト混合物の価格上伸が指数動向のプラスに大きく寄与した。**【仙台】**(同+0.2%)でも、新潟と同様に舗装材料の上伸に加えて、砂利・碎石の上伸もプラスに寄与した。**【札幌】**(同+0.2%)では、合板類の下落がマイナスに寄与したが、ボックスカルバートなどのコンクリート製品の価格上伸が指数動向にプラス寄与する結果となった。

各地の建設総合部門の指数【10月分】

全国平均：139.4 前月比 +0.1% 前年同月比 +3.6%	新潟：136.3 前月比 +0.3% 前年同月比 +3.6%	札幌：140.3 前月比 +0.2% 前年同月比 +3.9%
広島：137.4 前月比 +0.1% 前年同月比 +3.3%	大阪：143 前月比 +0.1% 前年同月比 +2.9%	仙台：135 前月比 +0.2% 前年同月比 +3.6%
福岡：140.9 前月比 +0.2% 前年同月比 +3.2%	那覇：138.3 前月比 +0.1% 前年同月比 +3.2%	東京：139.1 前月比 +0.1% 前年同月比 +3.6%
高松：146 前月比 +0.1% 前年同月比 +4.3%	名古屋：140.9 前月比 +0.2% 前年同月比 +4.4%	



一般財団法人

建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp